

報道関係各位

a 1 (エイワン)リサーチ、「メル友」調査

2001. 09. 03

博報堂広報室

博報堂生活総合研究所

株式会社エイワンアドネット

博報堂生活総合研究所では、ケータイを使いこなす生活者の「メル友」に関する意識を聴取するクイック調査を8月13日～20日にかけて実施した。株式会社エイワンアドネットの協力を得て、同社が提供する、携帯電話による調査システム「エイワンリサーチアシストシステム」を利用した。

* 「エイワンリサーチアシストシステム」・・・略称：a 1 (エイワン) リサーチ

全国のEZweb接続可能端末から、ユーザーに携帯画面上のバナーをクリックしてもらい、リンク先のフォームにしたがって文字入力によって質問に答えてもらうシステム。複数回答、単一選択、自由回答いずれも可能で、画像の添付もできる。

本リリースはその調査で自動集計された10才～39才の回答者(有効回答数6656サンプル)に関する速報である。

単位(人)

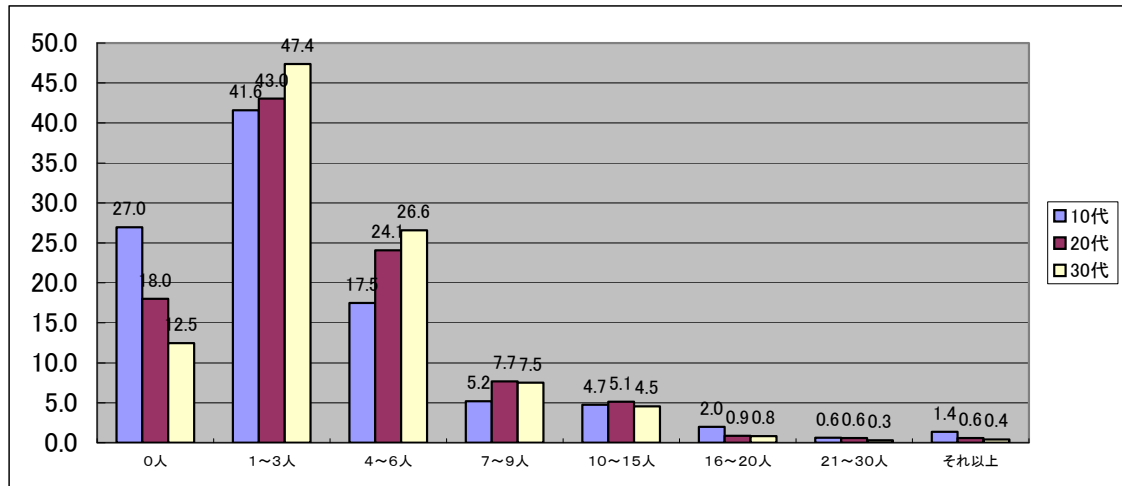
性別	10代	20代	30代	総計
男性	722	1478	936	3136
女性	1072	1691	757	3520
総計	1794	3169	1693	6656

上記表のとおり、調査手法の特性ゆえ、年齢層別のサンプル数はばらつきがある。また男女では、今回はやや女性の方が多かった。短い時間内で若者層を中心に膨大なサンプル数を自動的に獲得でき、しかも回答態度も良好なこの種の調査手法は今後、世論調査、マーケティング調査の新しい手法として十分に可能性があるものと思われる。

この件に関するお問い合わせ先
博報堂生活総合研究所 鷲田・川口
TEL 03-3233-6450

調査結果1 「メル友」の人数は1～3人が平均的。10代よりも20代～30代のほうが多くの「メル友」を持っている傾向がある。

データ1 問「あなたに普段、プライベートなメールのやり取りをするメル友は何人いますか？」全体合計



男性									単位%	単位(人)
	0人	1～3人	4～6人	7～9人	10～15人	16～20人	21～30人	それ以上		サンプル数
10代	27.1	45.2	14.8	4.7	5.0	1.5	0.3	1.4		722
20代	21.5	48.0	19.9	5.3	3.3	0.8	0.5	0.7		1478
30代	14.6	53.7	20.8	6.3	3.4	0.4	0.1	0.5		936
女性										
	0人	1～3人	4～6人	7～9人	10～15人	16～20人	21～30人	それ以上		サンプル数
10代	26.9	39.2	19.3	5.5	4.6	2.3	0.8	1.4		1072
20代	15.0	38.7	27.7	9.7	6.7	0.9	0.7	0.5		1691
30代	9.8	39.5	33.7	9.0	5.9	1.3	0.5	0.3		757

まず「メル友」の人数を質問してみたところ、上記データのように、ほぼ1～3人が平均的であり、予想よりも少ないということが分かった。年齢層別に比較してみると、10代よりも20代や30代の回答者のほうが、「メル友」人数が多い傾向が見られた。「メル友」が0人という人は、12～28%程度であり、逆にいえば、本調査回答者の約7～8割のユーザーは「メル友」がいるということになる。男女別に比較してみると、やや女性のほうが「メル友」数が多いようだ。「メル友」が3人以上もいると回答した人は全体の2%以下であった。

調査結果2 実際に会った事がない「メル友」のいる人が、全体の約4～5割。

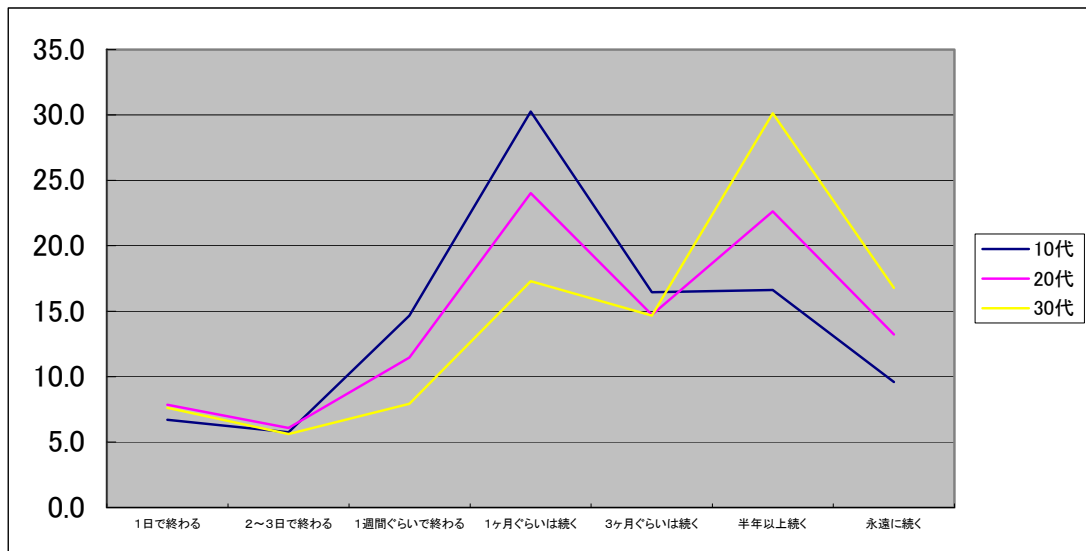
実際に会ったことがない「メル友」が何人ぐらいいるかを質問してみたところ、0人とする回答は全体の約5～6割に留まり、逆にいえば、残りの約4～5割の回答者は会った事がない「メル友」が最低1名以上いるということになった。「メル友」のネットワークを用いて、リアル世界とは切り離された人間関係が、かなりの規模で形成されていると言えるだろう。調査結果1の事実と総合すれば、あまり多人数ではないものの、実際に会ったこととは異なるような「メル友」を持っている人がかなりの割合にいるということになる。

データ2 問「では実際に会った事がない「メル友」が何人いますか？」

全体	単位%								単位(人)
	0人	1～3人	4～6人	7～9人	10～15人	16～20人	21～30人	それ以上	サンプル数
10代	50.5	35.6	7.7	2.4	1.4	0.5	0.3	1.6	1794
20代	59.6	30.3	6.2	1.5	0.9	0.2	0.2	1.1	3169
30代	62.2	28.6	5.9	1.2	1.3	0.2	0.1	0.5	1693

調査結果3 10代にとっての「メル友」の寿命は1ヶ月ぐらいが平均的。若い層ほど短く、年配層ほど長い。

データ3 問「いったん「メル友」になった関係は、どれぐらいの期間続くと思いますか？」

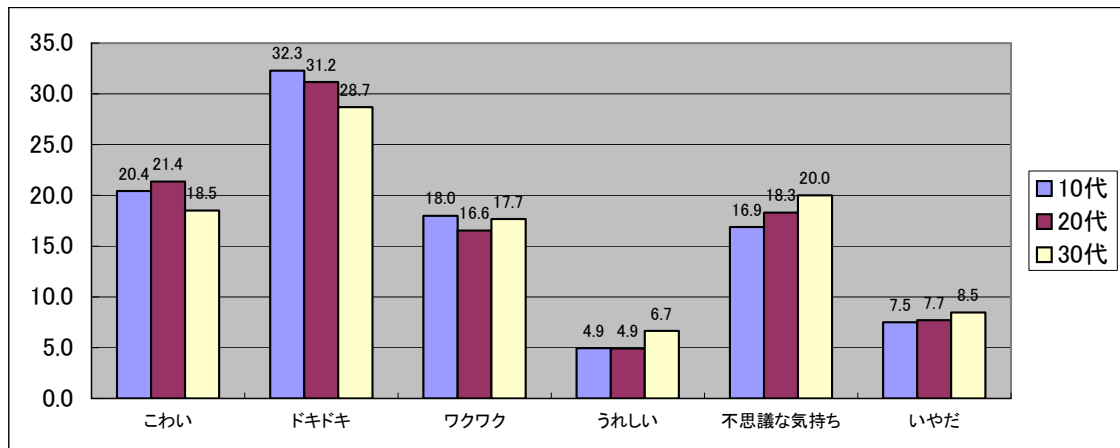


全体	単位%							単位(人)	
	1日で終わる	2~3日で終わる	1週間ぐらいで終わる	1ヶ月ぐらいは続く	3ヶ月ぐらいは続く	半年以上続く	永遠に続く	サンプル数	
10代	6.7	5.7	14.7	★30.3	16.4	16.6	9.6	1794	
20代	7.9	6.1	11.5	★24.0	14.7	22.6	13.2	3169	
30代	7.6	5.6	7.9	17.3	14.6	★30.1	16.8	1693	

「メル友」の関係がどの程度の期間続くと思うのかを聞いてみたところ、10代では「1ヶ月ぐらい」とする回答が最も多かった。年齢層が上がるにつれて期間は長くなり、30代では「半年以上続く」とする回答が多かった。1日~数日で終わってしまうような刹那的な「メル友」は意外に少ないようだ。

調査結果4 初めて「メル友」に会う気持ちは「ドキドキ」「こわい」、>「わくわく」「うれしい」

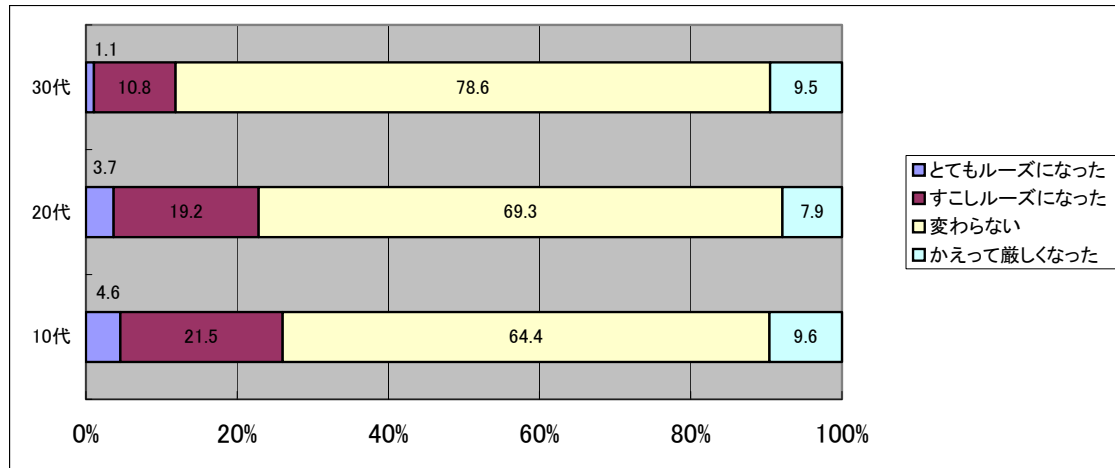
データ4 問「会ったことがない「メル友」に初めて会うとしたらどんな気持ちになりますか？
(複数回答)」



会った事がない「メル友」に会うと仮定したときの気持ちを複数回答で質問したところ、やはり「ドキドキ」「こわい」とする恐怖の気持ちが上位に挙げられた。「ワクワク」「うれしい」とするポジティブな気持ちを回答する人も少数ながら存在した。

調査結果5 若い世代では「ケータイのせいでやや時間にルーズになった」とする傾向。

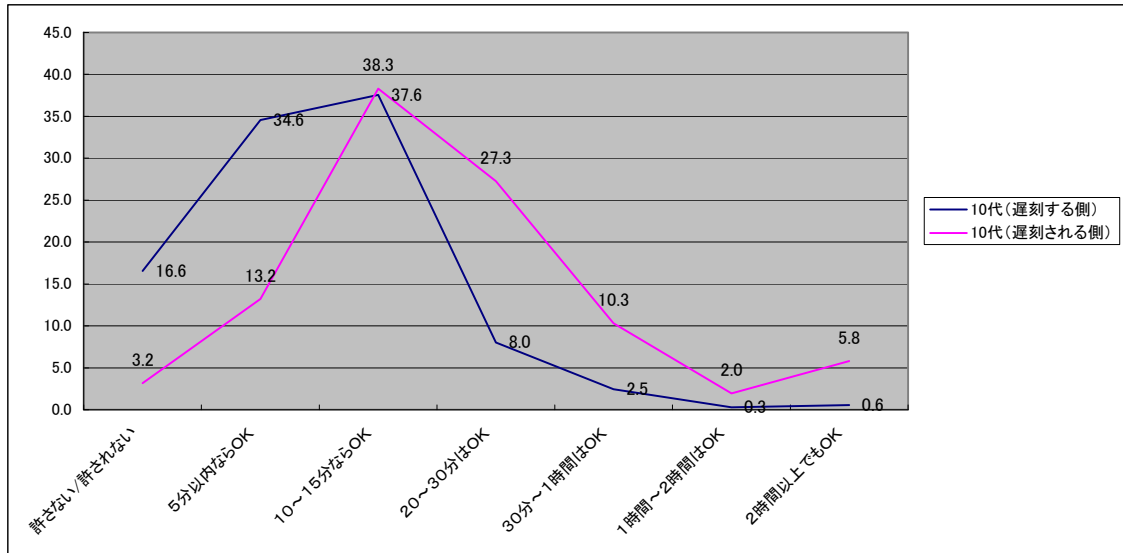
データ5 問「あなたはケータイを使うことによって、待ち合わせの時間などにルーズになりましたか？」



やや視点をかえて、ケータイを利用するライフスタイルのせいで、待ち合わせなどの時間にどの程度ルーズになってきているのかを質問してみたところ、全体に「変わらない」とする回答が約7割を占めたものの、「とてもルーズになった」「すこしルーズになった」などとする回答も合計で約1割～2割ほど見られ、特に若い世代ほどその傾向が強い。

調査結果6 しかしそんな10代でも、待ち合わせルールはまだまだ「良識あり」。

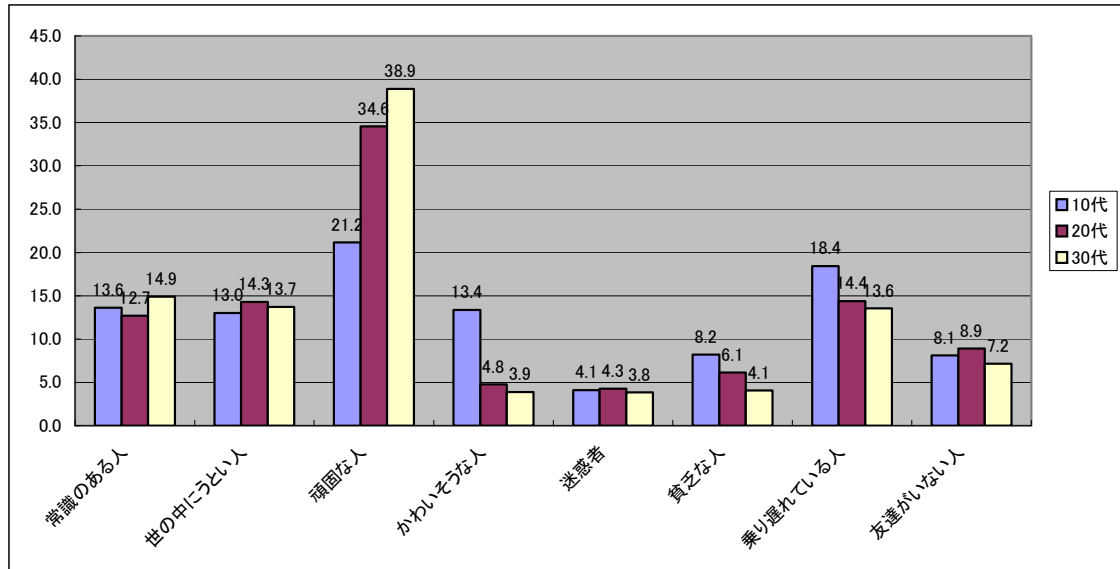
データ6 問「もし待ち合わせにあなたが遅刻している（相手に遅刻されている）として、とりあえずケータイで連絡すれば、だいたい何分ぐらいの遅刻までなら許される（許す）と思いますか？」（10代のみ）



待ち合わせにややルーズになってきた傾向がある10代が、「とりあえずケータイで連絡」をすれば、どの程度の遅刻までを許す（許される）と感じているのかを、遅刻する側とされる側の両方の立場を仮定して質問してみたところ、上のような結果になった。ルーズになったとはいえ、「遅刻する側」のほうが「される側」よりもはるかにパンクチュアルであると言える結果になり、まだ「良識」は残っていると言えるだろう。ちなみに比較的寛容だった「される側」の結果を見ても、やはり「20分~30分までならOK」というあたりまでで大半を占め、それ以上の「大遅刻」は多くの人が「許さない」と思っているようだ。

調査結果7 ケータイを持たない「頑固な人」。10代にとっては「かわいそう」との声も。

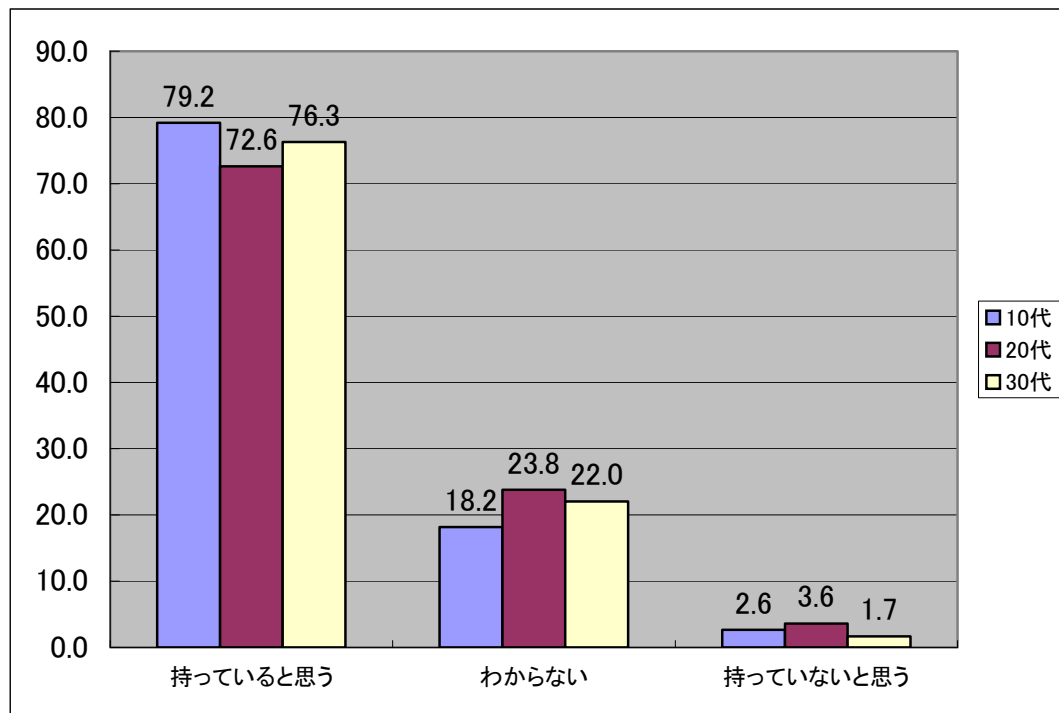
データ7 問「ケータイをまだ持っていない人について、あなたはどのように思いますか？(複数回答)」



今回の回答者は調査手法の関係上、全員がケータイ利用者であるが、そんな人からみたときの「ケータイを持たない人」に対するイメージを複数回答で質問してみたところ、もっとも多かったのは「頑固な人」という答えで、特に年齢層が上がるにつれてそのような意識が強いことがわかった。2番目に多かったのは「乗り遅れている人」で、若い層ほどそのように感じているようだ。10代では、ケータイを持っていない人のことを「かわいそうな人」と考えている率も比較的高く、ケータイが生活に深く浸透していることを示す調査結果であった。

調査結果 8 約8割が「10年後もケータイ」。

データ 8 「10年後も、あなたはケータイを持っていると思いますか？」



大半の回答者が10年後もケータイを持っているだろうと回答しており、ケータイが多くの人にとって生活必需品として完全に定着したことが分かる。